



生協ネットワーク21加盟生協が連携して、2017年に想いをつなぐリレー学習会として始まった一般社団法人アクトビヨントラストの企画助成を受けたネオニコフリーの取り組みも7年目の取り組みとなりました。

ネオニコ系農薬は1990年代から使用が急増し、殺虫剤の主流となっていますが、ミツバチやトンボがいなくなっただけでなく、人体への被害も明らかになってきています。

国はみどりの食料システム戦略の中で2050年までにネオニコ系農薬を含む化学農薬の使用を半分にする目標を立てましたが、あと20年以上も使い続けて子どもたちは大丈夫??世界は禁止や規制の方向に動いているのに、日本はそれまで使い放題です・・・子どもや孫の世代が心配!!

どうしたらいいの?できるところから、できる人から始めませんか?まずは学んで、子どもたちを守るために私たちに何ができるのかを一緒に考えましょう!

●2024年8月29日(木)

オンラインで開催!!

参加費無料



虫害のリスクを考えるとなあ...

子どもたちの未来が心配 何とかしたいなあ...



【第1部】 10:00~12:00 (生協組合員向け) ※生協組合員以外の方もOK!

『食品に潜む農薬の安全性とリスク評価の仕組み ~水道水・養育行動・父性曝露・農薬再評価の問題点~』

講師：星 信彦さん(神戸大学大学院教授)

農薬は化学物質(環境ホルモン)です。星先生の研究では、これ以下なら異常が認められないと国が定めた量でも、ネオニコを投与されたマウスには行動異常が認められたそうです。さまざまな実験データから、ネオニコチノイドとはどういう性質を持っているのか、そして、現在の毒性試験の矛盾点も教えていただきます。

また、現在行われている「農薬再評価(登録農薬の安全性に関する審議)」のお話の他、最新の情報もお話しいただく予定です。



【第2部】 13:30~15:30 (生産者向け) ※生産者以外の方もOK!

『~生協あいコープみやぎの事例から学ぶ~ 生協組合員と一緒に取り組むネオニコフリー!』

- 報告① あいコープみやぎ 高橋翔さん
- 報告② りんご農家 天童果実同志会さん
- 報告③ 米農家 大郷みどり会さん
- 報告④ あいコープみやぎ組合員 交流担当理事

あいコープが産直産地の生産者とともに取り組んできたネオニコチノイド系農薬の削減。組合員の抱える農薬への不安の声を生産者が真正面から受け止め、今なお続くそれぞれの取り組みについて報告します。東日本大震災以降に始まった、宮城県内の産直米産地のネオニコ削減。殺虫剤の削減が難しいと言われている果実では、りんご産地の挑戦を組合員が園地のオーナーとなり支えるなど、組合員と産地が二人三脚で削減の歩みを進めてきました。生協と生産者の産直のつながりがあったからこそ実現できた、ネオニコ不使用の輪をみなさんの力でより大きなものにしていきましょう。



■第1部(8/29AM) ■第2部(8/29PM) ■申込締切: 8月20日(火) 正午

■オンライン開催(zoom) ■定員:各回500名 ■参加費:無料 ■主催:生協ネットワーク21

※一般社団法人アクト・ビヨントラスト2023年度助成にて開催しています

お申し込み方法

こちらのQRコードを読み取ってお申し込み下さい!



【お問い合わせは】生活協同組合連合会アイチョイス

●Mail: t-ohmiya@ichoice-coop.org ●Tel:コールセンター フリーダイヤル:0120-52-1252(受付時間...月~金9:00~18:00)

友好生協のネットワークで一緒にネオニコフリー&有機農業をひろげましょう! ***生協ネットワーク21加盟生協***
 あいコープみやぎ あいコープふくしま よつ葉生協 なのはな生協 自然派くらぶ生協 やまゆり生協 ナチュラルコープヨコハマ 常総生協
 生協ネットワーク21 生協連合会アイチョイス 生協連合会コープ自然派事業連合